

平成24年度産学官連携推進会議
パネルディスカッション「科学技術イノベーションの実現のために」
平成24年 9月28日 東京国際フォーラム

科学技術イノベーションのために

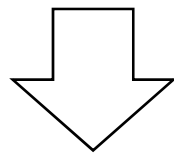
笠木 伸英

東京大学 名誉教授
(独) 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー

研究成果を社会的恩恵へ結実させるために

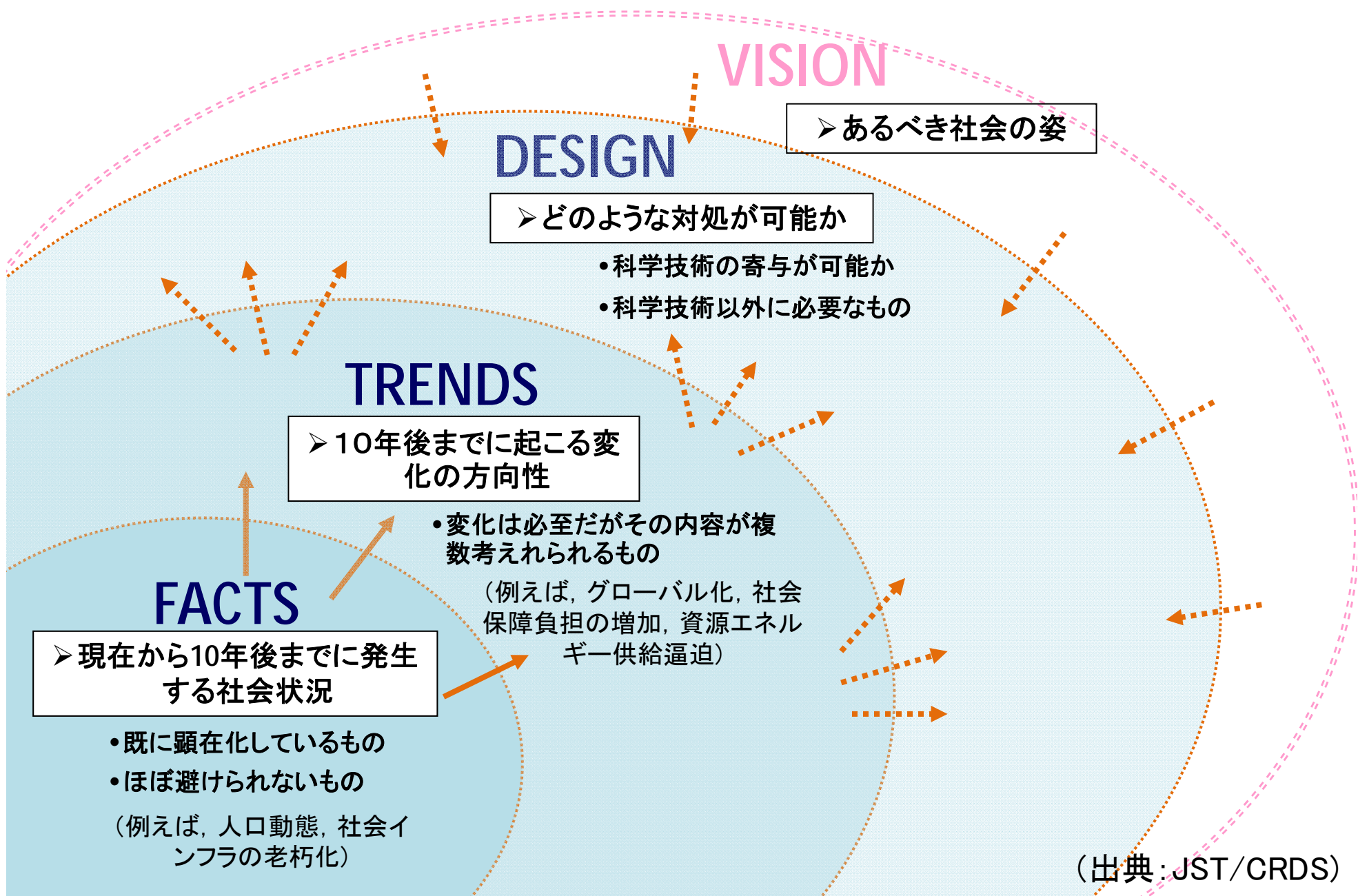
■ 明示的な政治的意思と研究者の役割意識

- 政策: 科学に対する社会からの期待の明示, 研究者間の組織的分断の解消, 研究者を魅力的な職とする施策
- 研究開発者: 公的研究費の使用が国民の期待に応える責任を伴うことに対する認識, 科学者コミュニティが社会の中で果たしている役割の一部を担っているという自覚



- 社会的期待に応える研究開発課題の発見
- イノベーション創出に向けた組織的取り組み

社会的期待に応える研究開発課題の発見



イノベーション創出の組織的取り組み

- 目標達成に向けた、**省庁を横断**するファンディング、推進策やPDCA
- **Direct Funding**(研究開発に対する公的財政支援)と、**Indirect Funding**(知財戦略, 研究開発税制, 規制緩和, 市場開放, 標準化, 国際進出などのへ公的支援)の**接続**による総合的政策
- 基礎研究に従事する科学者を巻き込む、**イノベーション創出産官学ネットワーク**の形成
- 産官学連携から“**産官学学**”連携へ
 - シニア(経験, 倫理, 使命感)+ジュニア(感性, 好奇心, 可能性)の多様な知識と価値観の出会いが、ブレイクスルーの鍵